



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2019～2020年度 RI会長 マーク・ダニエル・マローニー
RIテーマ ロータリーは世界をつなぐ

クラブテーマ「私たちは風土を大切に守り発展を続けていきます」

会長 山田定男

副会長 加藤正幸 幹事 石井和郎

第1449回 例会 2020.6.19(金)雨

司会:田村康晃君 指揮:
ロータリーソング「日も風も星も」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央町ビル2F
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 呉竹

TEL.055-975-3210
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 山田定男君



本日の例会はクラブ協議会各委員会の事業報告です。今年度の例会も残すこと後1回となりました。2月までは各委員会の方々に活発に活動いただき、良い結果も残せました。只、3月以降、新型コロナウイルスの影響で例会も行えず、私の力不足も相まって最後の3か月がすこし寂しく感じられます。

来月からは加藤会長年度です。今年至らなかった分、次年度最大限協力いたしますのでよろしくお願い致します。

出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	27/34	79.41%	28/34	82.35%
今回	29/35	82.85%	会員総数	35名

欠席者 あなたが見えなくて残念でした。

小林君、杉山(順)君、田中君、中本君、山口(雅)君、渡邊君
(*出席免除会員の欠席者)

今日の料理



おめでとう

会員誕生日 4月28日 遠藤修弘君
6月21日 山田定男君
入会記念日 6月22日 中村 徹君



幹事報告

幹事 石井和郎君

◎ 昨日、会長幹事会が開催されまして、その席で、当クラブの戦略計画として、未来宣言、地域の寺子屋になろう!を発表したところ、好評につき、早速ガバナーへ報告との事でした。

委員会報告

SAA委員会

委員長 藤川智徳君

SAA委員長としての1年間、SAA委員としては3年間ありがとうございました。

周年行事や新年会ホストクラブの会場監督としての経験もさせていただき大変勉強になりました。

何が勉強になったかと言いますとやはり「準備すること」の重要性であります。仕事だってなんだって準備がきちんとできていれば、突発的なことがおきたとしても何とか乗り切れます。そんなことを多いに再確認できました。

僕は、ロータリークラブに入会したばかりの時は、知っている方もほとんどいない状態で、自分の立居地もわからず、クラブに対して役立っていないということが実はとても苦しかったです。しかしSAAをやらせていただいて、SAAは僕に役割を与えてくれました。役目を全うすることで段々、皆さんに自分と言う存在を知っていただけるようになったと思います。とても有り難い事です。そして何より、前委員長の服部先輩をはじめ、大庭さん・田村さんという固い絆で結ばれたSAAの仲間から感謝いたします。ありがとう。

今年度でSAAは卒業となりますが、これからもSAAを応援し、そして次年度・社会奉仕委員長として努めてまいります。どうも有り難うございました。

会員増強・維持委員会

委員長 篠木喜世君

2019-2020年度を振り返りますと、反省ばかりが先に立つ一年だったと感じます。メイクアップの推進、ロータリーeクラブを活用してのメイクアップ方法の広報等を促し、一定の効果はあったと思います。しかし、せせらぎ三島RCの増員、拡大に関しては、目標を達成できなかったと感じています。当初私は、①女性会員を増やすこと ②多様な業種の方に参加して頂くこと の2つを自分なりの目標と考えていました。しかし、女性会員を増やすことはできませんでした。むしろせせらぎ三島RC立ち上げからのロータリアンが複数退会されてしまいました。時の流れのこととはいえ、多様な業種の人生の手本となるメンバーを失ったことは、若きロータリアンの為にも残念でなりません。委員長としての力不足・努力不足を痛感しています。

次年度の委員長や委員の皆様には、多種多様な生業の品格あるロータリアンの増強をお願いしたいと思います。更には1人でも多くの女性が参加して頂けるよう、頑張ってくださいと思っています。私自身も一人のロータリアンとして、これからも会員増強心掛けていきたいと思っています。一年間有難うございました。

情報・文献委員会

委員長 杉山順一君

情報・文献委員会ではRIが機能麻痺なったように当クラブでも情報を発信するような活動は出来ませんでした。過去のロータリーの歩みなどのビデオテープ(VHS)などをCDに変換等を行いました。

公共イメージ向上委員会(広報・IT) 委員長 米山晴敏君
マイロータリーに5名の方が登録するお手伝いをしました。クラブ活動を2620地区ガバナー事務局のHPに写真付きで投稿しました。

安間G来島訪問、三島西RCとの合同作業奉仕、ゴルフ同好会、米山梅吉記念館50周年、地区大会、子ども食堂勉強会、ポリオ募金、地域寺子屋を目指してのサッカー教室、クリスマス家族会、子ども食堂開催手伝い、カンボジア訪問支援事業、カンボジア田井名誉領事から三島市へのマスク贈呈など18件をアップしました。

当クラブの活動で報道機関からの取材は『社会奉仕委員会活動の12月14日ポリオ募金運動と同日の子ども食堂勉強会』『未来宣言委員会の12月21日協賛の名波浩サッカー教室とアンプティーサッカー教室』『国際奉仕委員会のカンボジア支援の三島市とカンボジア領事館とのマスク贈呈事業』の4活動が静岡新聞に掲載されました、また日日新聞、FMボーイスキューでも取り上げて頂きました。

各委員会様のおかげで世間の皆様にもせせらぎ三島ロータリークラブの活動を広報することが出来ました、ありがとうございました。

新グループ交流委員会

委員長 服部光弥君

昨年度、グループ再編に基づき新設され2年目の委員会。初年度は30周年のPRと新しいクラブとの交流を目的として活動し、2年目となる本年は「握手しましょう」のテーマを掲げましたが、先方とのスケジュール等が合わず「握手」出来ないのが現状でした。静岡第1グループのIM後の懇親会に積極的に参加をし翌日のゴルフコンペに参加表明することが出来ませんでした。今後、このような委員会を設立した際には早い時期から先方にアプローチをし、スケジュール調整が必要だと改めて感じた次第です。クラブ会員皆様にはロータリークラブのスケールメリットを感じていただきかけたのですが、実現できず反省しております。しかし、改めて感じたことは「せせらぎ三島RC」の存在感はクラブ内に留まって感じている以上に他方に「誇れるクラブ」だということを感じました。これも諸先輩方の築き上げてきた行動力の賜物であり、我々はこの「せせらぎブランド」をより積極的に社会へ伝播していくことが使命だということを感じた1年でした。ありがとうございました。

親睦委員会

副委員長 原 兄多君

令和元年9月に夏の家族会、12月にクリスマス家族会、令和2年1月に4クラブ合同新年会、6月にさよなら例会の企画・設営を行いました。

新型コロナ感染症拡大の影響により、春の家族会は中止となりました。

1年間、ご協力いただき、ありがとうございました。

クラブ奉仕委員会 委員長 加藤正幸君

当委員会は、出席・広報・親睦・情報文献・会員増強維持・プログラム、今期より未来委員会が活動を始めております。各委員会と共に活動しています。

親睦委員は田中君と原君を中心に各メンバーが動いてくれました。

夏の家族会 9月8日
クリスマス会 12月20日
4クラブ新年会 1月10日

素晴らしい会になったと思います。

未来委員会が12月21日にサッカー教室に協賛してくれました。温かい汁物を提供してくれたのが好評だったようです。

会員増強は新メンバーが高村勝則君を入会させてくれました。

その他の委員会もそれぞれ活動有難うございます。

後期 2月4日 IM 伊豆川奈ホテルにて
2月6日～11日 カンボジア支援訪問
2月27日 第一グループ次年度会長幹事会
サンバレー富士見にて

プログラム委員会 委員長 遠藤修弘君

年間プログラムを活動月間の内容、記念日及び特別行事を考慮し作成させていただきました。そのため卓話の日程については、活動月間等の月に各委員長が担当できるように設定し、米山記念館創立50周年記念式典については、例会日とさせていただきます。また、家族との取り組みも大切と考え、祝日週休会を多く設け、できるだけ連休が取れるようにしました。そのため前年度あまりなかった第5週の例会を開催することになってしまいました。

その他、「何月何日卓話です。よろしく申し上げます。」とポケットにメモをつけ卓話日程を間違えないよう案内をしました。

以上のような活動をしましたが、今年度はコロナの影響があり、特にプログラムの変更が多かった年でした。日程変更等については、会員の皆様のご理解とご協力いただき、また会場監督委員長はじめ会場監督委員会の皆様には私の気づかないところをサポートいただき助かりました。1年間本当にありがとうございました。

出席委員会 委員長 大村典夫君

今年はコロナ禍による例会の中断期間があり、会員の皆様はそれぞれ満足のいく例会出席が叶わなかったのではないかと思います。

例会が実施できないときに、代替策をどうするかという新たな問題が浮上し、その議論のきっかけとなったのはせめてもの救いです。

テレビ会議や動画配信サービスを利用した方法が挙げられていますが、コロナ第2波に向けて準備を進めていければと思います。

当初、私は、例会に出席できないときに何ができるかを考えたいと思っていましたが、まさか、コロナ禍のようなウイルス感染により、例会以外でも「集会」ができなくなるなど全く想定していませんでした。

まずは、会員同士が離隔した状態でもコミュニケーションを図ることができるよう、きちんとした対策を考えていきたいと思っています。

社会奉仕委員会 委員長 石井邦夫君

7月 3年目の手紙郵送

全員で約1100通を送付、子供たちが喜んでいて報告がありました。

8月 おたまちゃん食堂(子供食堂)

会員にたくさんの食品を提供していただきました。12月に子供たちが喜んで食事をしていました。静岡放送に取り上げられました。

9月 米山梅吉記念館の掃除を全員で行いました。石井幹事に協力していただきました。岡会員は川の中に入って活躍してくれました。

12月 ポリオ募金をイーヨーガドーで行いました。10名近い委員が参加してくれました。寒い中大声で募金を呼び掛けてくれました。10万弱の募金が集まりました。皆さんのおかげです。

職業奉仕委員会 委員長 小島 真君

事業計画にも示した通り、ロータリアンによる職業奉仕の重要なポイントは、各メンバーの職業を皆で理解し、各メンバーの職業をより高潔なものにし、結果として社会に貢献することだと考えます。

そこで卓話の時間を借りて、若手二人の職業をより高潔なものとするべくフリートークを行いました。

その後コロナ渦の中、中々深められなかったのが反省点です。

今後は新しい生活様式の中、職業の形も変化を求められている時代ですので、新しい職業奉仕委員会に期待させていただきます。

国際奉仕委員会 委員長 大庭靖貴君

国際奉仕委員会では今年度も昨年度に引き続きカンボジアへの児童教育環境向上支援事業を行いました。現地へは2/6から12名の方にご参加いただきました。今年度もリエンボン村へはミシン、生地、文房具等をプレゼントしました。

今回は新たにプノンペン郊外の小学校、中学校、高校にも訪問しサッカーボール、文房具等を直接届けることが出来ました。各学校では贈呈式が行われ、それぞれの学校や村を見学し現状把握に努めました。今年度も皆様には様々な面でご協力いただきありがとうございました。特にカンボジアに精通している仲原さんには大変お世話になり感謝申し上げます。次年度委員長宜しく申し上げます。



スマイルボックス

山田定男君:会長の職務不足の為反則金を支払いません。

篠木喜世君:新型コロナの規制が緩和されましたが、まだまだ気は抜けませんね。スマイルします。

加藤正幸君:いよいよ来月より加藤年度スタートです。メンバー皆様の支援・協力よろしくお願いします。楽しいロータリー活動をしていきましょう。

山口辰哉君:「三密」のあとは「三散(さんさん)」だそうです。普段から放っておかれているから、密になったことはありません。ちなみに「三散」は密教の言葉だそうです。

